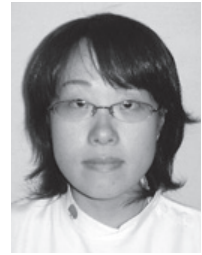


検査の はなし



臨床検査部
松島 裕香

血球成分の検査

血液は、液体成分（血漿）と有形成分（血球）からできています。

血球は顕微鏡で構造物として見るができます。その形から大きく分けて3つに区別することができます。「赤血球」、「白血球」そして「血小板」です。今回はこの3つの成分について簡単に述べます。

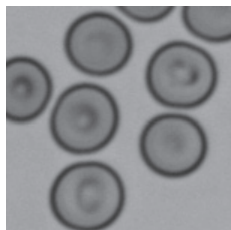
①赤血球

	基準値
赤血球数 (RBC)	男性：480～600万/ μ L 女性：380～480万/ μ L

赤血球は生命の維持に不可欠な酸素を体中に運ぶ働きを持っています。

赤血球の数が減少すると貧血になり酸素の運搬能が低下します。貧血があると深刻な病気が隠れていることもあるため注意が必要です。

反対に増えすぎる病気が多血症であり、血液の流れが悪くなり血管が詰まる原因にもなります。



(赤血球)

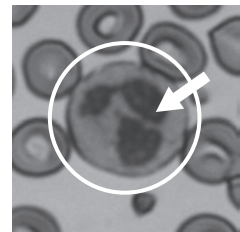
②白血球

	基準値
白血球数 (WBC)	3500～9500/ μ L

白血球は体内に細菌や異物などが侵入したとき、これらを取り込んで破壊したり（食作用という）、免疫細胞を作って細菌やウイルスなどを排除したりする働きをします。

体内に病原菌などが侵入して炎症を起こすなどの異常がなければ、白血球の数はほぼ一定に保たれています。炎症が起きると骨髄で盛んに白血球が作られ、これが病変部に移動して病原菌の侵入を防ぎます。

喫煙やストレスで増加することもあります。



(白血球)

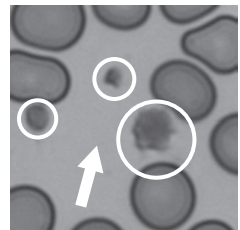
③血小板

	基準値
血小板 (PLT)	13.0～40.0万/ μ L

血小板は血液を固まらせ、出血を止める役割を担っています。

出血を放っておいたら酸素を運搬する赤血球がどんどんなくなってしまいますので、出血を止める必要があります。

出血を止めるために、血小板は傷口に集まり、凝固因子と呼ばれる血液を固まらせる物質を放出します。血液の凝固とともに他の白血球や組織球などの細胞が集まって傷口を治癒させる組織を作ってゆきます。



(血小板)

※表示されてる基準値は当院のもので、基準値とは、健康な人のデータを集めて求めたもので、平均値から対象者の95%を含む範囲の数値です。

（基準範囲をややはずれていても、すぐに「異常」というわけではありません。）